



# 2019年3月期 第3四半期決算

パイオニア株式会社

2019年2月14日

## 今回の発表のポイント

### 1. 2019年3月期 第3四半期 連結決算実績：

- 当四半期、9ヵ月通期ともに、売上は、カーエレクトロニクスおよびその他の減少により、前年同期から減収。営業損益は、売上減に加え、原価率の悪化や為替影響により、損失を計上
- 当期純損益は、当四半期は、営業損益の悪化はあったが、事業譲渡益や為替差益を計上したことなどにより、前年同期から損失が縮小。9ヵ月通期は、事業譲渡益はあったが、営業損益の悪化に加えて、特許訴訟関連損失や競争法関連損失などの計上により、前年同期から損失が拡大

### 2. 2019年3月期 連結業績予想：

- 売上は、3,500億円、営業損益は50億円の損失で前回予想から変更なし
- 当期純損益は、特別損失の計上もあり、130億円の損失となる見込み

# 1. 2019年3月期 第3四半期連結決算

## 2. 2019年3月期 連結業績予想

当プレゼンテーション中、当社の現在の計画、概算、戦略、判断などの記述、また、その他すでに確定した事実以外の記述は、当社の将来の業績の見通しに関するものです。これらの記述は、現在入手可能な情報による当社経営陣の仮定および判断に基づいています。実際の業績は、様々な重要なリスク要因や不確定要素によって、見通しの中で説明されている業績から大きく異なる可能性もありますので、これらの記述に過度に依存されないようお願いします。また、当社は新たな情報や将来の事象等の結果としてこれらの記述を常に見直すとは限らず、当社はこのような義務を負うものではありません。当社に影響を与え得るリスクや不確定要素には、(1)当社が関わる市場の一般的な経済情勢、特に消費動向や当社が製品等を供給する業界の動向、(2)為替レート、特に当社が大きな売上や資産、負債を計上する米ドル、ユーロ、その他の通貨と円との為替レート、(3)競争の激しい市場において、顧客から受け入れられる製品を継続して設計、開発する能力、(4)事業戦略を成功させる能力、(5)他社との合併、提携またはその他事業関係の成功、(6)資金調達能力、(7)研究開発や設備投資に十分な経営資源を継続して投下する能力、(8)製品に関する品質管理能力、(9)生産に必要な重要部品を継続して調達し得る状況、(10)偶発事象の結果などが含まれますが、これらに限られるものではありません。

---

# 1. 2019年3月期 第3四半期連結決算

---

## 2019年3月期 第3四半期・9ヵ月通期： 連結業績概要

(単位:億円)

	第3四半期			9ヵ月通期		
	前年同期	当四半期	前年同期比	前年同期	当期	前年同期比
売上高	947	<b>899</b>	95.0%	2,709	<b>2,609</b>	96.3%
営業損益	1	<b>-17</b>	-	21	<b>-34</b>	-
経常損益	-18	<b>-10</b>	-	-22	<b>-47</b>	-
当期純損益*	-29	<b>-8</b>	-	-55	<b>-107</b>	-

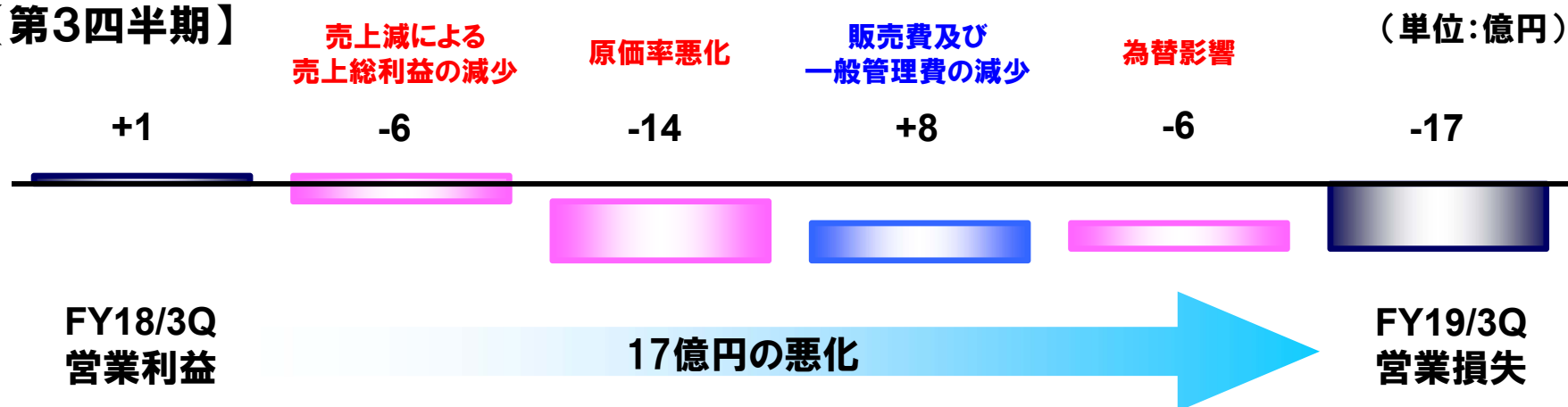
1株当たり純損益*	-7.56円	<b>-1.99円</b>	+5.57円	-14.85円	<b>-28.25円</b>	-13.40円
ROE	-13.8%	<b>-4.1%</b>	+9.7%	-8.9%	<b>-18.7%</b>	-9.8%
1株当たり純資産	219.39円	<b>190.82円</b>	-28.57円			
ROA	-3.9%	<b>-1.1%</b>	+2.8%	-2.5%	<b>-5.2%</b>	-2.7%

\* 親会社株主に帰属する当期純損益

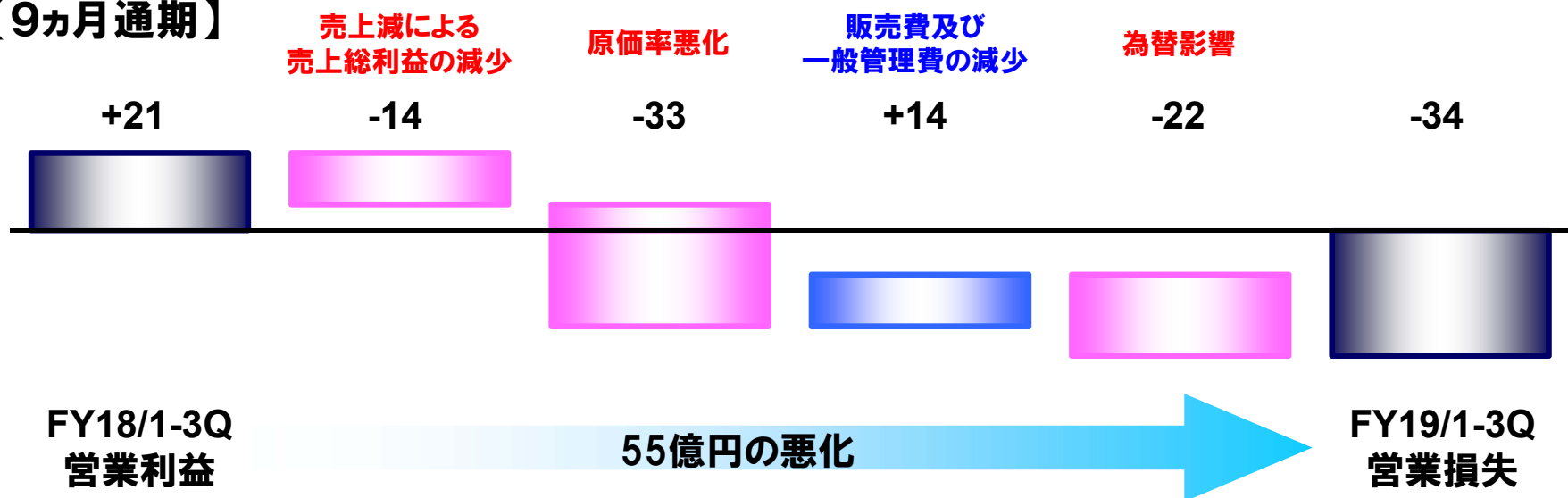
為替 平均レート	1米ドル	112.98円	<b>112.90円</b>	-0.1%	111.70円	<b>111.14円</b>	-0.5%
	1ユーロ	133.01円	<b>128.78円</b>	-3.3%	128.53円	<b>129.49円</b>	+0.7%

## 2019年3月期 第3四半期・9ヵ月通期： 営業損益増減要因

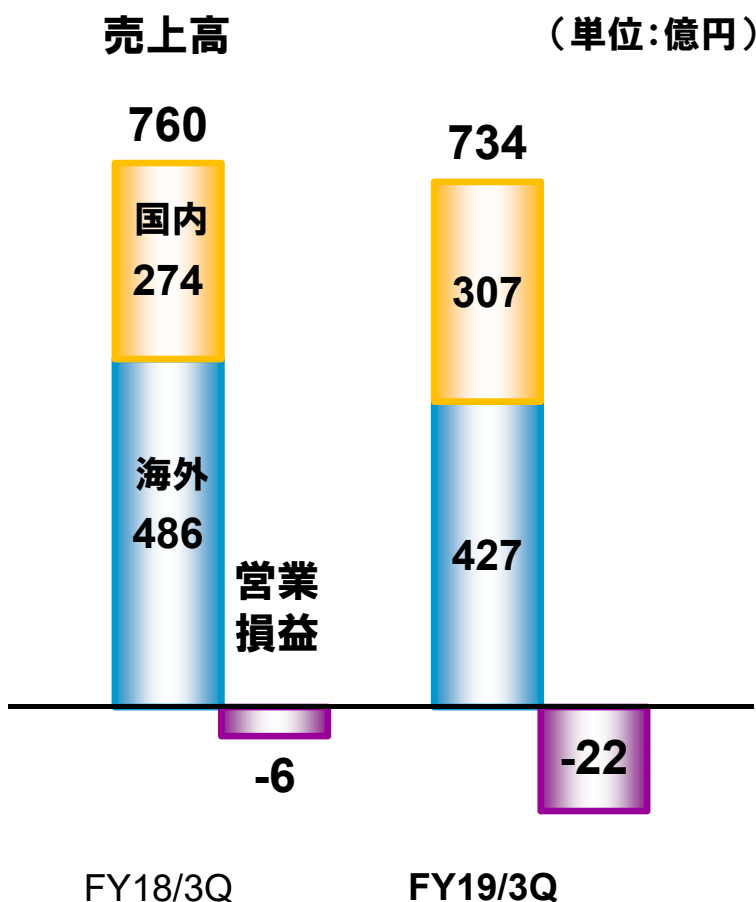
### 【第3四半期】



### 【9ヵ月通期】



## 2019年3月期 第3四半期：カーエレクトロニクス



< 売上高 > OEM比率 58% (前年同期 58%)

前年同期比	97% (国内 112%、海外 88%(現地通貨ベース 90%))
増収要因	OEMカーオーディオ、テレマティクスサービス、市販カーナビゲーションシステム、地図ソフト
減収要因	OEMカーナビゲーションシステム、市販カーオーディオ

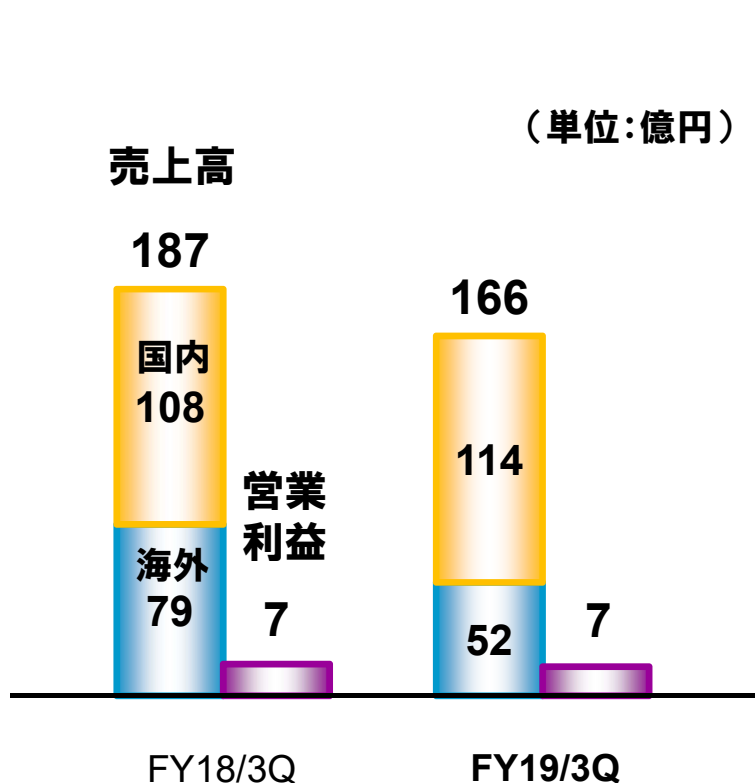
< 営業損益 >

前年同期比	16億円の悪化
良化要因	販売費及び一般管理費の減少
悪化要因	原価率の悪化 為替影響 売上減による売上総利益の減少

※ 当セグメントに含まれる主要製品およびサービス：  
カーナビゲーションシステム、カーステレオ、カーAVシステム、  
カースピーカー、テレマティクスサービス、地図ソフト

注) セグメント別営業損益は、セグメント間取引消去前の金額を表示しています。

## 2019年3月期 第3四半期：その他



### < 売上高 >

前年同期比	88% (国内 105%、海外 66%(現地通貨ベース 68%))
増収要因	光ディスクドライブ関連製品
減収要因	ホームAV、FA機器(子会社譲渡*1*3)、DJ機器(生産受託縮小*2)

### < 営業利益 >

前年同期比	0.6億円の悪化
良化要因	原価率の良化 販売費及び一般管理費の減少
悪化要因	売上減による売上総利益の減少

- \* 1. 2018年6月に、電子部品関連のFA機器事業(株式会社パイオニアFA)を譲渡しました。
- \* 2. 2018年8月に、DJ機器の生産工場(マレーシア)を譲渡しました。
- \* 3. 2018年12月に、自動車関連のFA機器事業(東北パイオニアEG株式会社)を譲渡しました。

### ※ 当セグメントに含まれる主要製品:

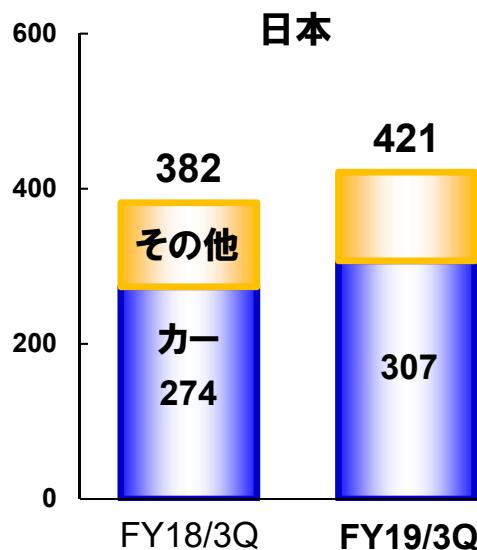
光ディスクドライブ関連製品、FA機器、電子部品、有機ELディスプレイ、DJ機器(生産・販売受託)、ホームAV

注) セグメント別営業損益は、セグメント間取引消去前の金額を表示しています。



## 2019年3月期 第3四半期：地域別売上高

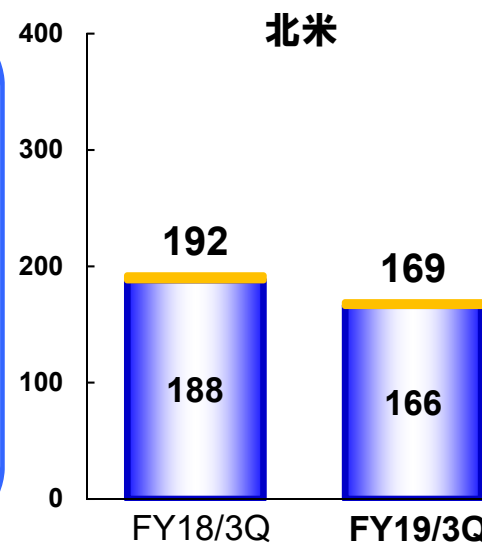
(単位:億円)



**前年同期比**  
110%

**増収要因**  
光ディスクドライブ  
OEMカーオーディオ  
OEMカーナビゲーションシステム  
テレマティクスサービス  
市販カーナビゲーションシステム

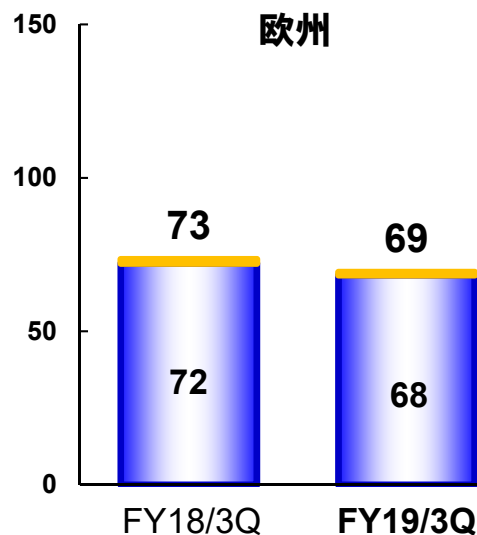
**減収要因**  
DJ機器



**前年同期比**  
円ベース: 88%  
現地通貨ベース: 88%

**増収要因**  
市販カーオーディオ

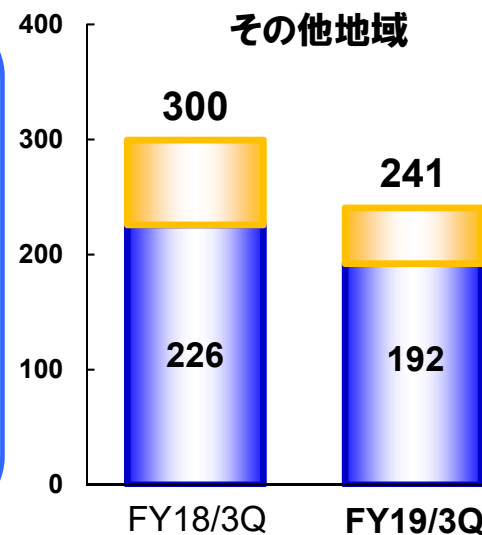
**減収要因**  
OEMカーナビゲーションシステム  
OEMカーオーディオ



**前年同期比**  
円ベース: 94%  
現地通貨ベース: 98%

**増収要因**  
OEMカーオーディオ

**減収要因**  
市販カーオーディオ  
市販カーナビゲーションシステム



**前年同期比**  
円ベース: 80%  
現地通貨ベース: 84%

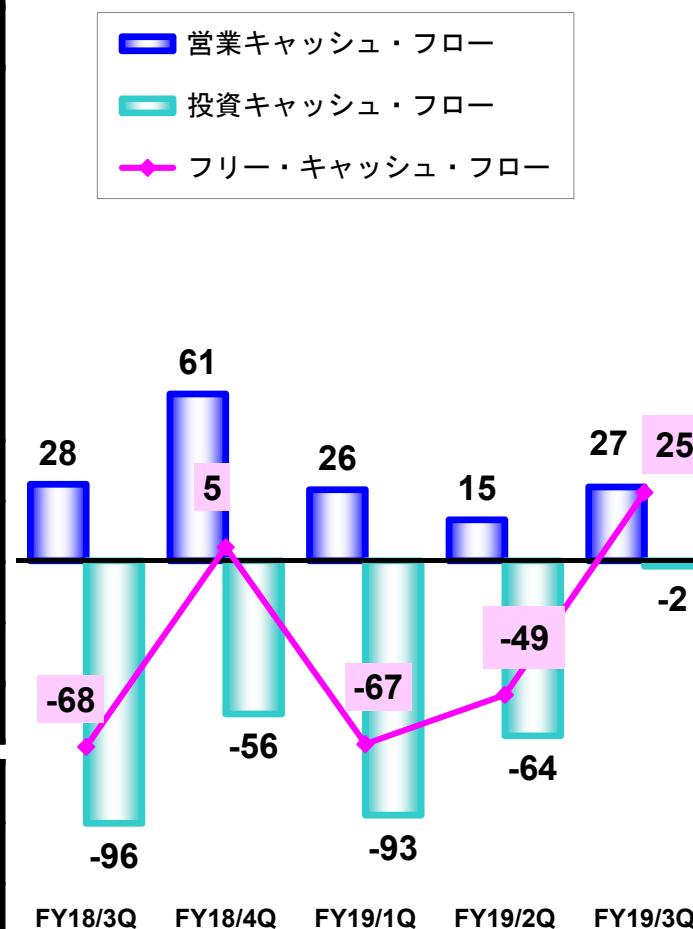
**増収要因**  
OEMカーオーディオ  
DJ機器

**減収要因**  
市販カーオーディオ  
ホームAV  
OEMカーナビゲーションシステム  
FA機器

## 2019年3月期 第3四半期・9ヵ月：連結キャッシュ・フロー計算書

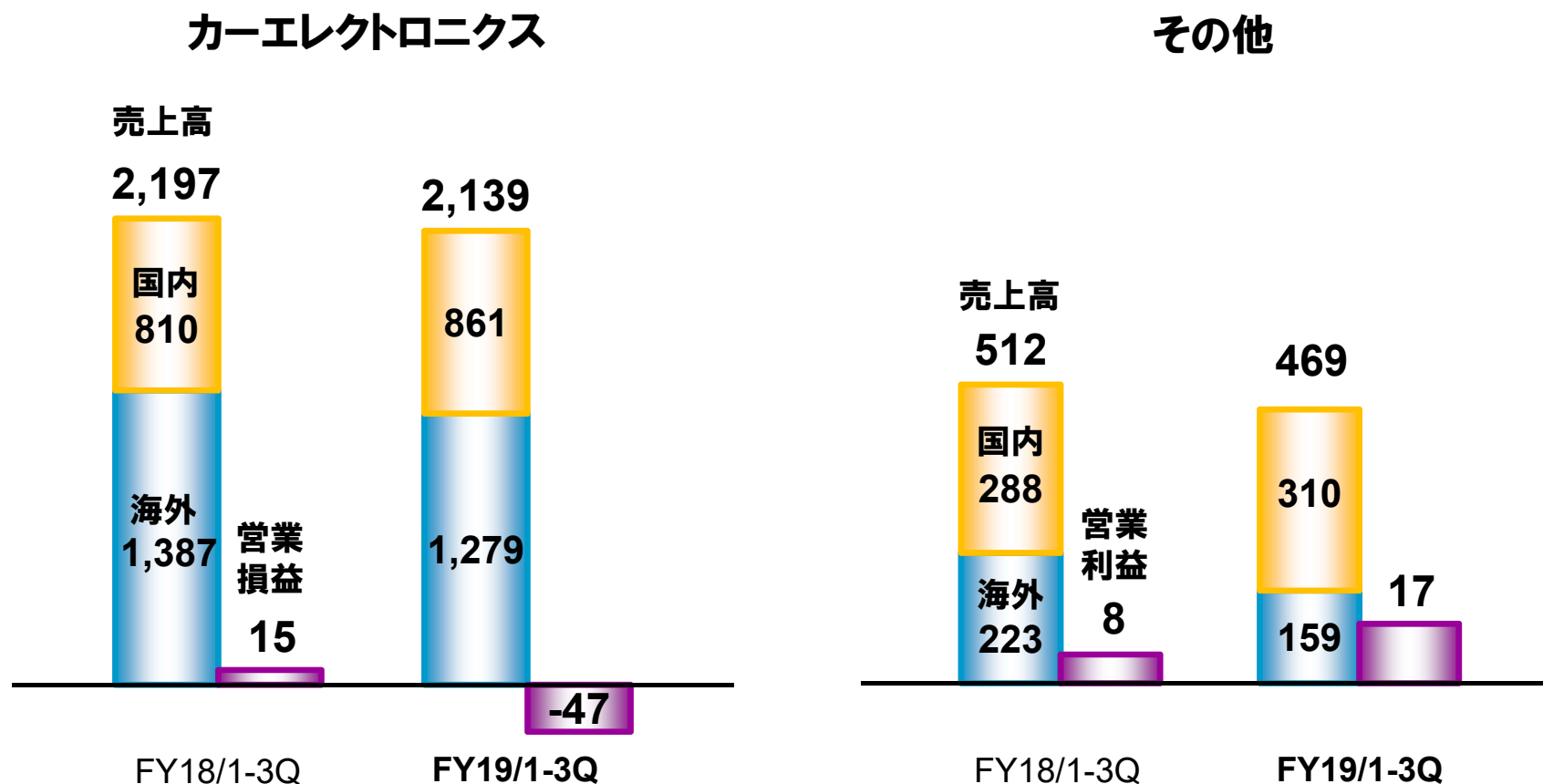
	第3四半期		9ヵ月通期	
	前年同期	当四半期	前年同期	当期
税金等調整前当期純損益	-17	6	-32	-77
減価償却費	55	50	151	171
売上債権の増減	18	34	50	107
棚卸資産の増減	-3	9	-45	-29
仕入債務の増減	-22	-26	-15	-78
未払費用の増減	-24	-40	-25	-25
その他	22	-6	14	-1
営業キャッシュ・フロー	28	27	98	68
投資キャッシュ・フロー	-96	-2	-275	-159
財務キャッシュ・フロー	107	-32	161	6
現金・現金同等物の換算差額	3	-4	11	-3
フリー・キャッシュ・フロー	-68	25	-177	-90
現金・現金同等物の増減	42	-11	-6	-87
現金・現金同等物の残高	378	269		
NETキャッシュ残高	-139	-233		

(単位:億円)



## 2019年3月期 9ヵ月通期 セグメント別売上高・営業損益

(単位:億円)



注) セグメント別営業損益は、セグメント間取引消去前の金額を表示しています。

---

## 2. 2019年3月期 連結業績予想

---

## 2019年3月期：通期連結業績予想

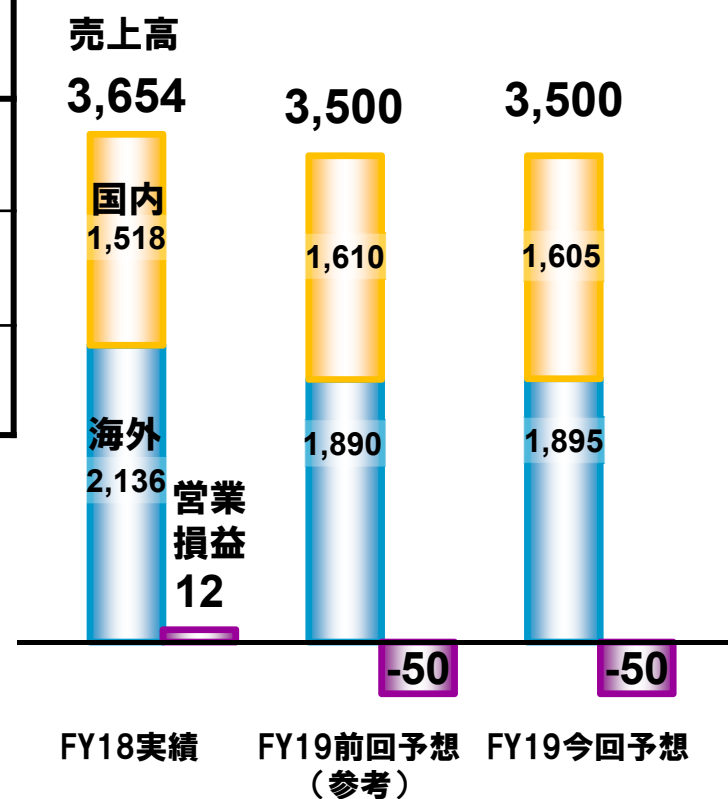
(単位:億円)

	FY18実績	FY19 前回予想 (参考)	FY19 今回予想	前期比
売上高	3,654	3,500	3,500	95.8%
営業損益	12	-50	-50	-
当期純損益*	-71	-	-130	-

\* 親会社株主に帰属する当期純損益

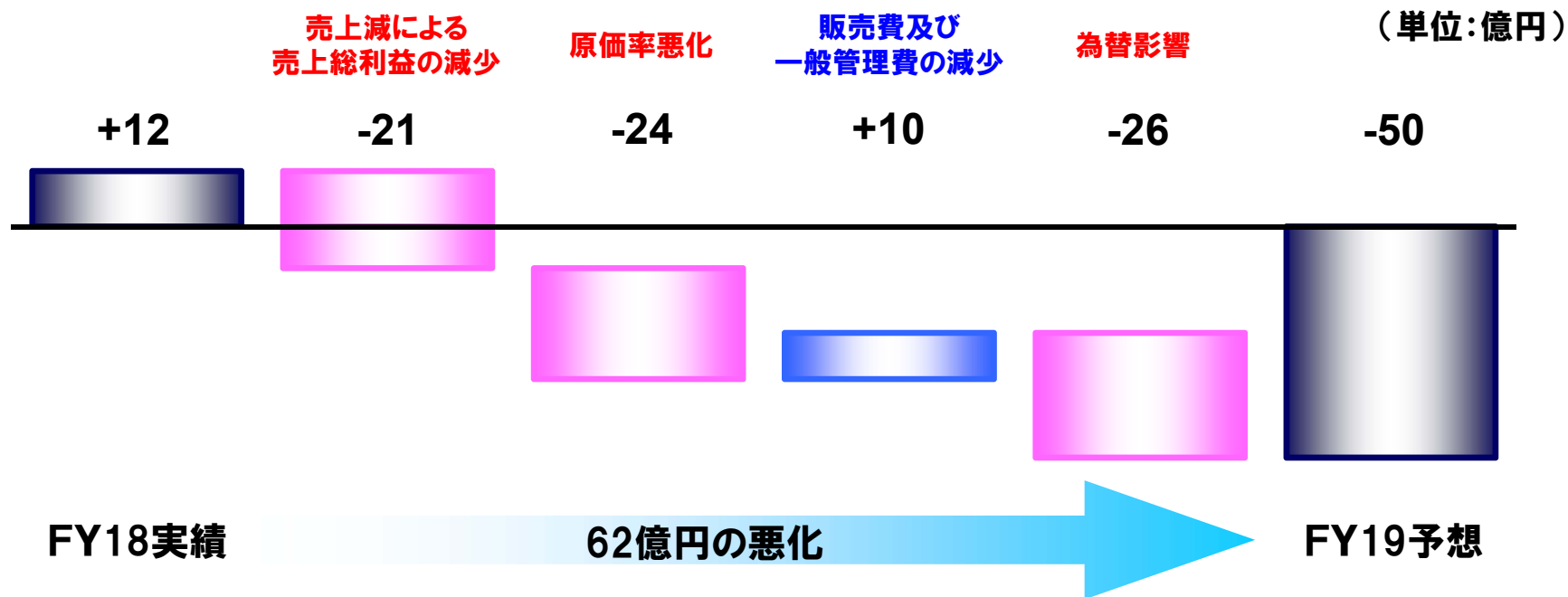
為替 前提 レート	1米ドル	110.85円	110.13円	110.86円
	1ユーロ	129.70円	129.92円	128.37円

(単位:億円)



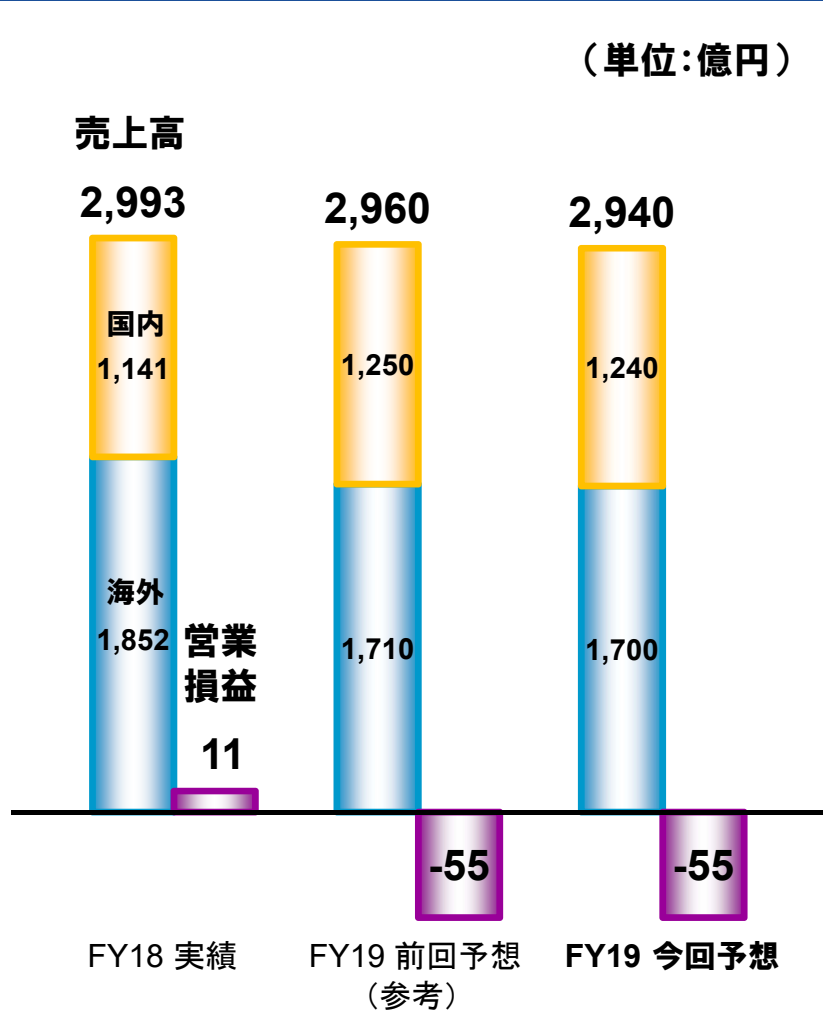
- 注) 1. 残り3か月間の予想レートは、1米ドルは110円、1ユーロは125円を前提にしています。  
 2. 1円の円高インパクト(残り3か月間)は、売上高では、米ドルは▲約3.7億円、ユーロは▲約0.5億円、営業利益では、米ドルは+約0.8億円、ユーロは▲約0.4億円。

## 2019年3月期予想：営業損益増減要因



- FA機器・DJ機器の一部事業譲渡の影響や、カーエレクトロニクス市販事業の売上減などにより、売上総利益は減少
- OEM事業における減価償却費の増加などにより、原価率は悪化
- 自動運転に関わる研究開発費は増加するが、売上の減少や経費節減により、販売費及び一般管理費は減少
- 新興国通貨の変動により為替影響は悪化

## 2019年3月期予想：カーエレクトロニクス



注) セグメント別営業損益は、セグメント間取引消去前の金額を表示しています。

### < 売上高 > OEM比率 59% (前期 58%)

前期比	98% (国内 109%、海外 92% (現地通貨ベース 94%))
増収要因	OEMカーオーディオ、テレマティクスサービス、地図ソフト
減収要因	OEMカーナビゲーションシステム、市販カーオーディオ
対前回予想	99% (国内 99%、海外 99% (現地通貨ベース 99%))
増収要因	OEMカーオーディオ
減収要因	市販カーナビゲーションシステム OEMカーナビゲーションシステム

### < 営業損益 >

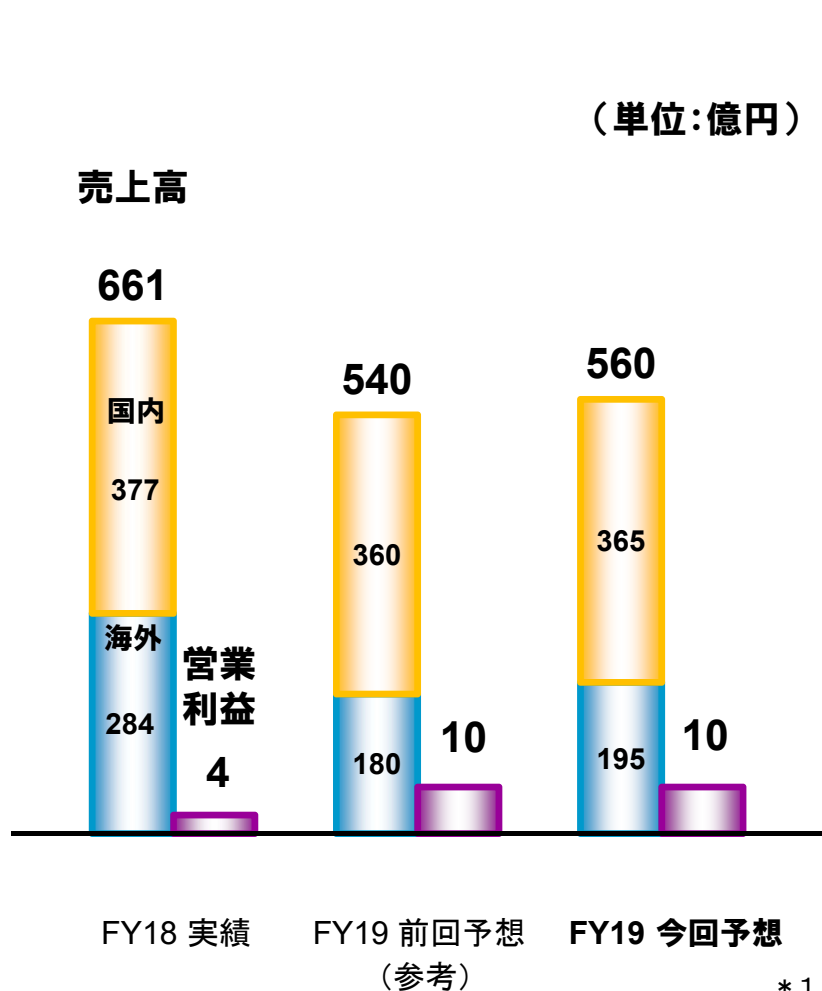
前期比	66億円の悪化
悪化要因	原価率の悪化、為替影響 売上減による売上総利益の減少
対前回予想	変化なし
良化要因	販売費及び一般管理費の減少
悪化要因	原価率の悪化、売上減による売上総利益の減少 為替影響

### < 出荷台数 >

(単位:千台)

	FY18 実績	FY19 前回予想 (参考)	FY19 今回予想
市販カーナビ	559	545	495
市販カーCD	5,324	4,350	4,250
市販カーAV	1,486	1,760	1,700

## 2019年3月期予想：その他



### < 売上高 >

前期比	85% (国内 97%、海外 69%(現地通貨ベース 70%))
増収要因	光ディスクドライブ関連製品
減収要因	ホームAV、FA機器(子会社譲渡*1*3)、 DJ機器(生産受託縮小*2)
対前回予想	104% (国内 101%、海外 108%(現地通貨ベース 108%))
増収要因	光ディスクドライブ関連製品
減収要因	特になし

### < 営業利益 >

前期比	6億円の良化
良化要因	原価率の良化、販売費及び一般管理費の減少
悪化要因	売上減による売上総利益の減少、為替影響
対前回予想	変化なし
良化要因	売上増による売上総利益の増加、原価率の良化
悪化要因	販売費及び一般管理費の増加

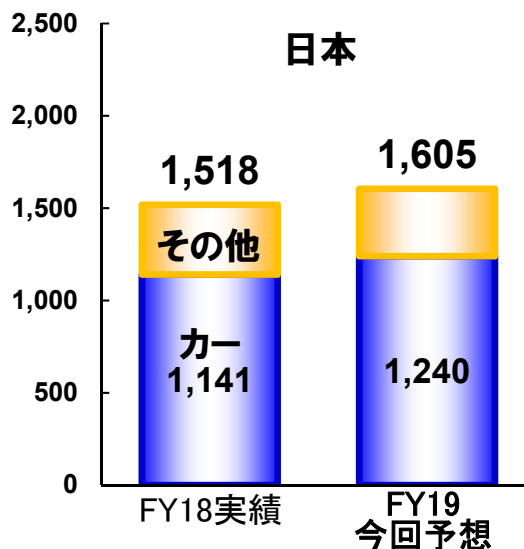
- \* 1. 2018年6月に、電子部品関連のFA機器事業(株式会社パイオニアFA)を譲渡しました。
- \* 2. 2018年8月に、DJ機器の生産工場(マレーシア)を譲渡しました。
- \* 3. 2018年12月に、自動車関連のFA機器事業(東北パイオニアEG株式会社)を譲渡しました。

注) セグメント別営業損益は、セグメント間取引消去前の金額を表示しています。



## 2019年3月期予想：地域別売上高

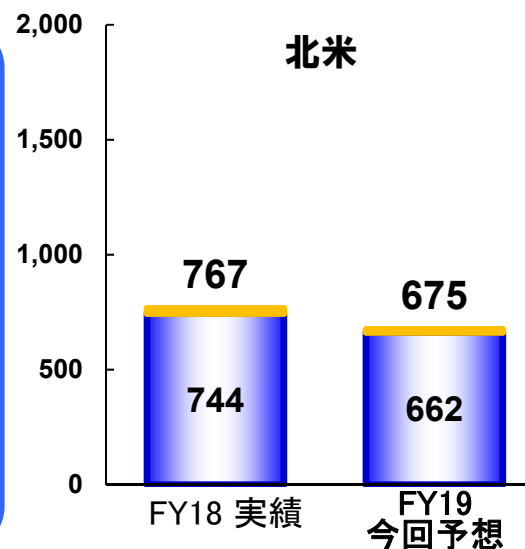
(単位:億円)



**前期比**  
106%

**増収要因**  
OEMカーオーディオ  
テレマティクスサービス  
光ディスクドライブ  
地図ソフト

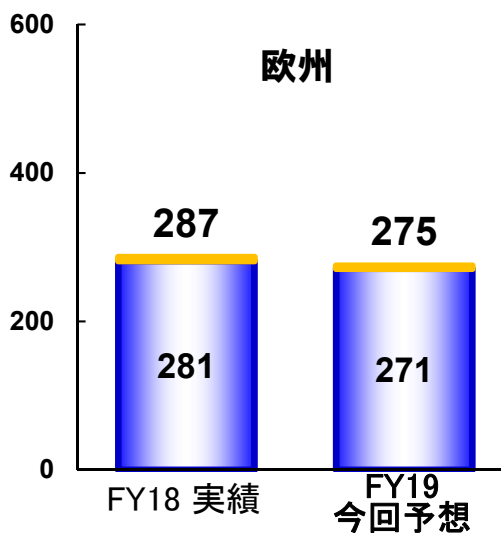
**減収要因**  
DJ機器  
FA機器



**前期比**  
円ベース: 88%  
現地通貨ベース: 88%

**増収要因**  
特になし

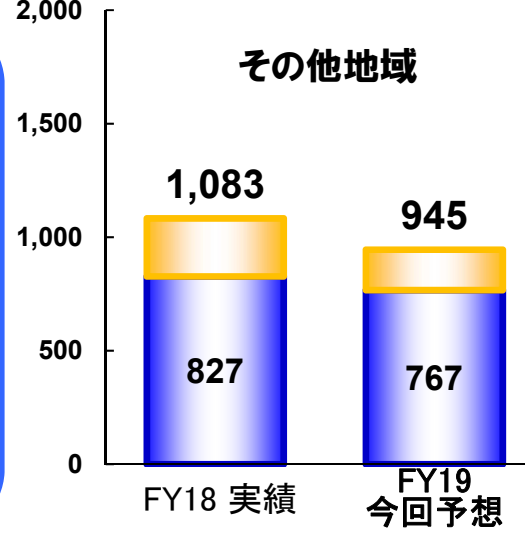
**減収要因**  
OEMカーナビゲーションシステム  
OEMカーオーディオ  
FA機器



**前期比**  
円ベース: 96%  
現地通貨ベース: 99%

**増収要因**  
OEMカーオーディオ

**減収要因**  
市販カーオーディオ  
市販カーナビゲーションシステム



**前期比**  
円ベース: 87%  
現地通貨ベース: 90%

**増収要因**  
OEMカーオーディオ  
DJ機器

**減収要因**  
ホームAV  
市販カーオーディオ  
OEMカーナビゲーションシステム  
FA機器

## 2019年3月期予想：財務指標

(単位:億円)

	FY18実績	FY19前回予想	FY19今回予想
研究開発費 (売上高比率)	259 (7.1%)	285 (8.1%)	280 (8.0%)
設備投資	310	-	370
減価償却費	206	250	230
棚卸資産	501	460	440
営業キャッシュ・フロー	159	-	75
投資キャッシュ・フロー	-332	-	-245
財務キャッシュ・フロー	143	-	-15
フリー・キャッシュ・フロー	-172	-	-170
純資産	849	-	745
自己資本比率	28%	-	28%
D/E比率	0.6倍	-	0.7倍
NETキャッシュ残高	-144	-	-315

注) 1. D/E比率＝有利子負債÷(純資産－非支配株主持分)

2. 上記予想には、ベアリング・プライベート・エクイティ・アジアから出資予定の770億円は含めていません。

*Pioneer*